

製品名: FBXL10 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81589**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	152.6kDa

抗原情報

遺伝子名	FBXL10
別名	CXXC2; Fbl10; PCCX2; KDM2B; JHDM1B
遺伝子 ID	84678.0
SwissProt ID	Q8NHM5
免疫原	大腸菌で発現したヒト FBXL10 (AA: 457-555) の精製された組み換え断片。

背景

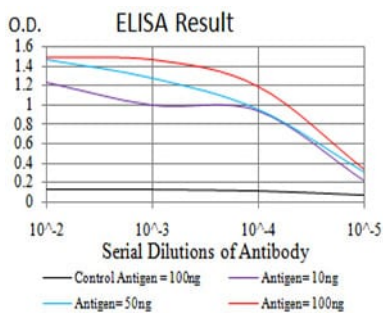
この遺伝子は、約 40 アミノ酸からなる F ボックスモチーフを特徴とする F ボックスタンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。F ボックスタンパク質は、SCF (SKP1-cullin-F-box) と呼ばれるユビキチンタンパク質リガーゼ複合体の 4 つのサブユニット

の1つを構成し、リン酸化依存性ユビキチン化に関与しています。Fボックスタンパク質は、WD-40 ドメインを含む Fbws、ロイシンリッチリピートを含む Fbls、そして異なるタンパク質間相互作用モジュールを含むか、あるいは認識可能なモチーフを持たない Fbxs の3つのクラスに分類されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は Fbls クラスに属します。この遺伝子には複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっていますが、一部のバリエーションの全長は未解明です。

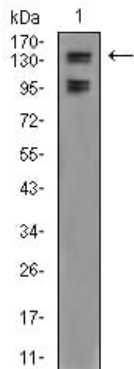
研究分野

-

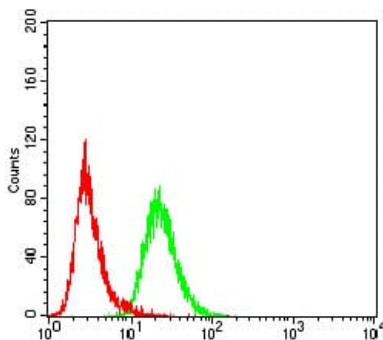
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



FBXL10 マウス mAb を用いた A549 (1) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



FBXL10 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。